

## 安田生命 平成14年度上半期の概況

安田生命の平成14年度上半期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)の業績は、下記のとおり引き続き良好な状況を維持しました。今後ともお客さま第一主義を基本思想とし、みなさまの信頼に全力でお応えします。

基礎利益 **899** 億円

高い収益力を維持しています。

基礎利益とは、保険本業のフローの収益を示す指標のひとつです。平成14年度上半期の基礎利益は前年同期比128億円増加して899億円となりました。また、基礎利益の一般勘定資産に対する比率も0.95%の高水準で、引き続き高い収益力を維持しております。

ソルベンシー・  
マージン比率 **673.9**%

不測のリスクをカバーする  
十分な支払余力を堅持しています。

ソルベンシー・マージン比率とは、大災害や株の大暴落など通常の予測を超えて発生するリスクに対応するための支払余力を有しているかどうかを判断するための行政監督上の指標のひとつです。当社の平成14年度上半期末時点での同比率は前年度末比61.2ポイント増加して673.9%となり、十分な支払余力を確保しております。

実質  
純資産額 **5,895** 億円

〔保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令〕第3条第2項の規定に基づき算出しております。

健全な実質純資産の  
水準を維持しています。

実質純資産額とは、時価評価した資産からご契約に関わる各種負債等を差し引いた、時価ベースの純資産額を表し、ソルベンシー・マージン比率と同様に、保険金等の支払能力を示す指標のひとつです。当社の平成14年度上半期末の実質純資産額は5,895億円と健全な水準を維持しております。

不良債権  
比率 **0.41**%

(リスク管理債権の貸付金残高に対する比率)

不良債権は極めて低い水準を保っています。

リスク管理債権とは、「返済状況が正常でない」貸付金の総称で、「破綻先債権」「延滞債権」「3カ月以上延滞債権」「貸付条件緩和債権」の4つに区分されます。当社の平成14年度上半期末の貸付金残高は3兆5,647億円ですが、そのうちリスク管理債権額は147億円、貸付金残高に対するリスク管理債権の比率(不良債権比率)は0.41%と極めて低い水準を保っております。